



試験は有名大理・工学部の基礎教育レベル

化学

化学グランプリ2023の

応募が締め切られました。3年ぶりの対面での一次選抜です。AO入試にも使う大学もあります。ぜひ、皆さんには化学の面白さを楽しんでもらうとともに、頑張った良い成績を修めていただきしたいと思います。

さて、今回の化学グランプリは高校2年生以下の生徒にとっては、国際化学オリンピック2024（サウジアラビア大会）の日本代表生徒の選抜試験も兼ねています。国際化学オリンピックは、例年約80力国から300人以上の生徒が参加します。上位約1割に金、約2割に銀、3割に銅メダルが授与されます。幸い

にも、日本代表生徒は2003（平成15）年より正式参加しており全員が銅メダル以上を獲得しています。

国際化学オリンピックの試験内容は、大学に進学する高校生の国際標準レベルである

国際バカロレア・ディプロマ3（平成15）年より正式参加しており全員が銅メダル以上を獲得しています。

一方、国際化学オリンピックは筆記が6割、実験が4割の試験です。基本的実験操作ができることは必須です。また、かなり知識レベルが高いですが知識量のみでは代表にはなりません。STEAM教育に求められる、科学的論理性を持って俯瞰的視野を持つ地力のある生徒である必要があります。そのような生徒であれば、世界レベルの生徒と互角以上に戦えるように、日本化学会のオリンピック強化指導メンバーが過去の国際大会に出場した代表生徒OBの協力の下に教育訓練します。

大学の学部教育に使われる教科書を贈呈し、2回の集合教育後、1月に学力中心の一次選考を行い約半分の人数とします。二次選考に進出した生徒にはさらに教科書を追加して贈

国際化学オリンピック2023

スイス大会日本代表（東京工科大学訓練合宿）

はホームページ(<http://icho.org>)に載っているのでぜひ参照してください。

（三好徳和・日本化学会化学グランプリ・オリンピック委員会委員長・徳島大学教授）

